

第28回
長野県母子衛生学会
総会・学術講演会プログラム

日時・会場：令和7年10月18日（土）

（最終頁に案内図があります）

10：30～12：00 助産師支援研修会（受付開始 10:00～）
信州大学医学部地域保健推進センター3階

13：00～16：30 総会・学術講演会（受付開始 12:30～）
信州大学医学部地域保健推進センター3階

16：45～17：15 意見交換会
信州大学医学部保健学科北校舎1階

オンデマンド配信：令和7年10月25日（土）12：00～11月8日（土）12：00

参加形態	学術講演会 参加費	助産師支援研修会 参加費
1. 会員 個人参加	2,000 円	1,000 円
2. 非会員 個人参加	4,000 円	2,000 円
3. 施設参加	20,000 円	20,000 円

*申し込みは事前登録、参加費は振込をお願いしております。

主催：長野県母子衛生学会

共催：信州大学医学部地域保健推進センター

【お問い合わせ先】長野県母子衛生学会事務局
松本市旭3-1-1 信州大学医学部保健学科内
e-mail：nagano-boshi@shinshu-u.ac.jp

学 会 プ ロ グ ラ ム

時 間	内 容	会 場
10:30～12:00	助産師支援研修会	信州大学医学部 地域保健推進センター3階
12:15～12:50	理事会	信州大学医学部 地域保健推進センター2階
13:00～13:30	総会	信州大学医学部 地域保健推進センター3階
13:30～13:40	学術情報提供	
13:50～15:15	一般口演	
15:30～16:30	特別講演	
16:45～17:15	意見交換会	信州大学医学部保健学科 北校舎1階

註1：本学会は以下の交付対象です。

- ・ 『日本専門医機構』産婦人科学術集会参加1単位
(注；産婦人科領域のみ単位として申請可能です)
- ・ 『日本専門医機構』産婦人科領域講習1単位 (注；現地参加でのみ発行されます)
- ・ 『日本周産期・新生児医学会』周産期専門医研修会2単位
- ・ 『日本産婦人科医会』研修参加1単位
- ・ 『日本助産評価機構』アドバンス助産師 選択研修修了証（特別講演）
- ・ 『日本助産評価機構』アドバンス助産師 必須研修「後輩指導・助産師教育」修了証
(注；要課題提出)
- ・ 『日本助産評価機構』アドバンス助産師 学会参加証

註2：お車でお出かけの方は、信大病院駐車場をご利用ください。(有料)

助産師支援研修会

* 『日本助産評価機構』アドバンス助産師 必須研修「後輩指導・助産師教育」

要課題提出

10：30～12：00

「後輩指導・助産師教育」

長野県立こども病院副看護部長兼師長・新生児集中ケア認定看護師

深尾 有紀 様

長野県立こども病院新生児病棟・新生児集中ケア認定看護師

岡部 稔枝 様

研修会アンケートはこちらからお願いします⇒



学 術 情 報 提 供

13 : 30～13 : 40

1. 産科領域 :

大規模災害対策情報システム (PEACE) について

信州大学医学部産科婦人科学教室

菊地 範彦 先生

2. 小児科領域 :

シリアスゲーム「はじめての妊娠～松本・大北地域編～」のご紹介

信州大学医学部小児医学教室

三代澤 幸秀 先生

一 般 口 演

I 群

座長 荒井 美介恵（飯田市立病院）

西村 理恵（飯田短期大学）

13：50～14：30

1. 長野県の周産期医療の現状と連携体制に関する検討

長野県看護大学

○古川亮子、北原夏実、藤澤紀子

現在、日本の医療崩壊・分娩空白が問題となっている。そこで、長野県の人口動態、周産期医療、教育、医療へのアクセスに関わる救助体制の現状を県内4地域ごとにまとめ、その連携体制について検討する。

2. 当病棟における出生前からのプライマリー・チームナーシングの実際と今後の課題

長野県立こども病院第3病棟

○江田真理

当院では、胎児診断を受けたハイリスク妊婦に対し、外来通院時からプライマリーナースをつけている。プライマリーナースは、意思決定支援だけでなく、出産後を見据えた他部門・他病棟との連携や部署内でのカンファレンス開催の役割を担っている。患者の背景も多様化し、スタッフ教育における展望を含めた現状を報告する。

3. 授乳支援方法による初産婦の授乳手技の差異

社会医療法人財団慈泉会相澤病院 3B 病棟

○市川夏帆

UNICEF/WHO(2009)では褥婦への授乳手技で、できるかぎり手を出さない方法が有効とされている。今回、初産婦へのポジショニング・ラッチオン支援において、助産師が褥婦や児に直接手を触れる群/触れない群を比較評価した結果、有意差がみられなかった調査結果を報告する。

4. 高血圧合併妊娠にアンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬が投与され 児の急性腎不全を生じたと考えられた1例

信州大学医学部産科婦人科学教室

○樋口景子、田中泰裕、小松登、横川裕亮、浅香亮一、布施谷千穂、菊地範彦、宮本強
36歳、2妊0産の女性で、妊娠に気付かずアンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）が投与され、胎児は羊水過少を呈した。出生後に急性腎不全と診断され腹膜透析を要した。妊婦へのARB投与は禁忌であり啓発が必要である。

Ⅱ群

座長 菊地 範彦 (信州大学)

中込 さと子 (信州大学)

14:35～15:15

5. 出生前診断に関する助産師の意識調査 ～いぶき外来での実践を通して～

飯田市立病院周産期センター

○松下美奈子、松島春美、唐沢美智子、熊谷ひとみ

出生前診断を希望する妊婦とそのパートナーの抱える不安や悩みに寄り添う「いぶき外来」において、助産師はその関わりの意義とともに難しさを感じることが多い。助産師に対し2回の意識調査を行い比較・分析することで、課題と今後の支援の方向性を検討した。

6. 当院における出生前相談外来の現状と今後の課題

～丁寧な関わりと情報提供を目指して～

JA 長野厚生連北信総合病院小児・周産期センター

○志田紗矢香、野池雅実、徳永美樹、勝村夏帆、野村明日香、常見浩司、長田亮介

当院は、2024年10月に無侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）の連携施設として認証され、同年11月より出生前相談外来を開設した。今回、2025年8月までに当院を受診した50例について、後方視的に検討し、出生前相談外来の現状と今後の課題について報告する。

7. 産科外来での出生前診断における患者ニーズの把握

～助産師がおこなう意思決定支援を振り返る～

信州大学医学部附属病院看護部南病棟4階¹⁾

信州大学医学部周産期のこころの医学講座²⁾

○福井雅恵¹⁾、宮下春菜¹⁾、小口伴美¹⁾、太田まさえ¹⁾、村上寛²⁾

A病院では、非侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）の基幹施設と認定されたことを機に出生前診断に関する相談も含め、不安のある妊婦さんのための専門外来「よりそい・ささえる外来（以下YS外来）」を開設した。本研究は、受診した妊婦にアンケート調査を行い、助産師の支援が妊婦に適しているかを評価すると共に、出生前診断におけるニーズを明確化することを目的とした。

8. NIPT 陽性事例 倫理的視点からの振り返り

伊那中央病院

○根本綾香、中山ゆかり、中山博栄、宮澤真由美、市村弘美、小林美帆

当院は、今年1月にNIPT受検を検討される患者を対象とした外来を開設した。その中で、NIPTとその後の羊水検査陽性判定となり、中期中絶を選択した患者への関わりについて倫理的な視点から振り返りを行ったので、報告する。

特 別 講 演

15 : 30～16 : 30

座長：信州大学医学部保健学科 教授 中山 佳子

「新生児の呼吸の観察と管理のポイント」

講師：長野県立こども病院 新生児科 副部長
小川 亮 先生

* 『日本助産師評価機構』アドバンス助産師選択研修

意 見 交 換 会

16 : 45～17 : 15

長野県母子衛生学会総会・学術講演会及び研修会会場へのアクセス



* お車でお越しの際には、信大病院駐車場をご利用ください。
サービス券をお渡しいたします (駐車場代 300 円)。